

①出て行け！ ここは俺の砂場だ！（2015年9月21日 富山県 太郎兵衛平）



ライチョウの幼鳥兄妹による砂場争いの図。

左が雄で右が雌。違いが分からない？ 鳴き声が違うのだが写真では伝わらない。

そして結果は下の写真。最初からこうしとけばいいのに。





②シカの気持ちとは (2016年5月7日 栃木県 太郎山)



アオモリトドマツの樹皮には、おできのような膨らみがある。(ブツブツの方ではなくふっくりと膨らんだところ)

ここに親指の爪を立てて押すと、中から松脂が飛び出してくる。

これを舐めるとその日一日は樹皮剥ぎをしているニホンジカの気持ちが分かると思う。

ぜひやってみてほしい。そう。別においしいなんて言っていない。

シカは冬場に針葉樹の樹皮を環状除皮してしまうのだが、こんな風に樹皮を削って食っていたら前歯がダメになってしまう。しかし彼らは飢饉だからそうしているのだろう。

生きなければならない。食わねばならない。彼らも、私たちも。



③細かすぎて伝わらない植物の話 (2015年 9月21日 富山県 太郎兵衛平)



左がクロマメノキ、右がクロウスゴ。葉っぱが赤いのは単に紅葉しているだけである。果実を見れば両者の違いは明らかである。クロウスゴは漢字で書けば黒白子。実の底部は臼歯のようになっている。クロマメノキの底部は閉じている。

実が無い時どう見分けるかである。

私を知るなかでも難易度が高い。

私が見つけた答えとしては、クロウスゴは稜があり（茎が角ばっている）、クロマメノキには稜がない（枝が円い）。クロウスゴはハイマツ群落などの林縁に多く、比較的背が高いが、クロマメノキは草原に生え、背が低い。

あくまでも一般論である。

稜が無いように見えるクロウスゴもあるし、ハイマツ群落の縁で大きく育っているクロマメノキもある。たちの悪い事に、ここにマルバウスゴというクロウスゴの草原バージョンみたいなやつが参戦してくる。さらにハイマツ群落内にはアオジクスノキというクロウスゴをさらに威勢良くしたようなやつもいる。

そんなもんビデオで撮ってわかるか、ということで我々はスノキ属で十把一からげにして卒論修論を書いた。

私は大学一年生の時、植生学の先生に実習で奥多摩に連れていってもらった。そこで、山で捻挫したらどうするのか、山で飯を作るにはどうするのかといった、山の基礎を教わった。たくさんの植物の名前も教わった。

英語を読むのに単語をある程度知らなければならない。同じように自然を読むにはある程度種名を知らなければならない。

クロマメノキ、クロウスゴ、マルバウスゴ、アオジクスノキ、ウラジロハナヒリノキ。細かいニュアンスまで読み解けるのはいつの日だろう。



④お日様と鳥 (2015年9月22日 富山県 太郎兵衛平)



私は鳥に全く詳しくない。

しかし、ある種の人々は猛禽のシルエットだけでそれが何かを見分けられるという。そこで、かつて共に調査に入っていた後輩 Y に画像を拡大して送ってみたところ。

「ノスリだと思います」このレスポンスの速さはなんなんだ。

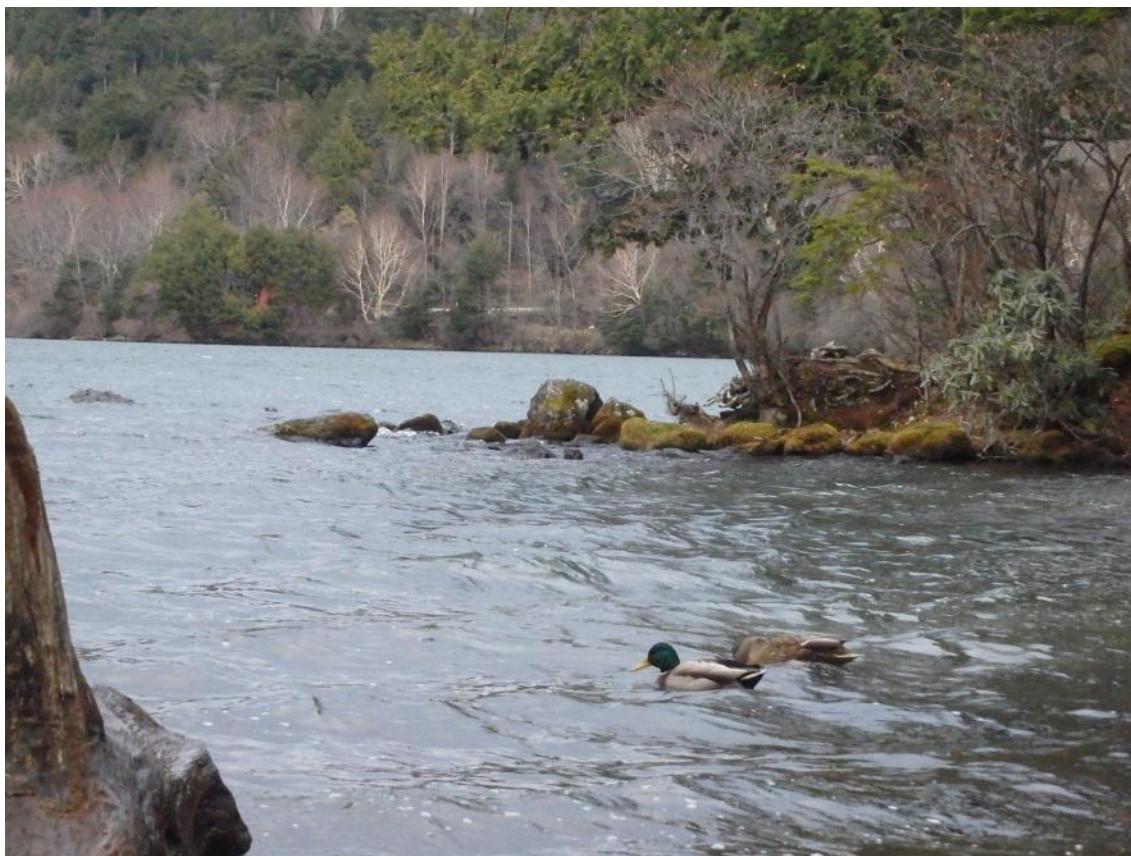


こちらは2016年6月11日にアブレ雄の頭を掠めて飛んで行った猛禽。

こんなに近くで撮れても、たまたま通りがかった未確認飛行物体である。

猛禽の事もわかるように、もう少し上を向いて歩けるようになりたいが、残念ながら私はいつも足元ばかりを見ている。そういう性格なのだ。

⑤水鳥 (2015年11月3日 栃木県 湯ノ湖)



このぐらいならわかる。越冬に入ったマガモ。

ご近所で見かけるカモの大半はカルガモである。マガモは比較的珍しい（見かけないわけではないが）。ここに渡ってきたのだろうか。

環境省のHPに依ればマガモがどこから渡ってくるのか調べられていて、どうもロシア東部から日本にやってきているらしい。鳥に国境なんて関係ないのだ。

動物、とくに鳥類の移動を追跡するのは難しい。私たちはライチョウを脇から見守るようにして追跡（とにかく追ってはいけない。動いてはいけない）して、移動跡をGPSで記録したりしている。マガモやハクチョウの例では、衛星追跡が行われている。もし、ライチョウで出来たら冬場どこにいるか、どうやって峰を移動していくか分かるのと思うが、衛星追跡の場合、背中に発信器を付ける。そしてライチョウは盛大に換羽する鳥の一種である。接着剤で付けても短期間で脱落する可能性が高い。秋に付けたとて、5月にはバサッと羽が抜けてしまう。春に付けても夏中だらだらと換羽しつづけ、秋には真っ白に変化する。実に厄介である。ライチョウが「なんだコレ」ぶちっと無理矢理外す可能性もある。

もう少し、事例を積み重ねた方が良いように思う。私達ヒトの技術は、きっと動物たちと仲良くなる道を示してくれるはずだ。そう信じて待っている。